



地域とともに

教科書では、学べないことも。

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地

Tel 01558-6-2063 FAX 01558-6-2868

HP <https://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

文責 校長・高橋 豊

「大樹町教育の日」交流会～小中高各発表と合唱披露

10月31日(金)に開催されました。平成19年10月1日に宣言をした「大樹町教育の日」が制定され、これを機に、教育に関する様々な取組を実施、この会の「ねらい」としても、児童生徒が相互による発表を見合い、発達段階に応じた発表や地域を保護者が見ることで、児童生徒の成長や地域を題材にした学習の成果を実感する場をつくることを目指し、毎年1回、大樹町教育委員会主催で行われています。

本校からは、大樹学発表として、3年生1グループが「音楽で大樹町を盛り上げるには」というテーマで発表、1年生男子からJAXA エアロスペーススクール参加報告、航空宇宙サークル等から、アクティブユースプロジェクト(帯広市・大分県)、宇宙シンポジウム in 串本(和歌山県)、北海道宇宙サミットそれぞれの参加報告、全校合唱「心の瞳」を披露しました。

大樹小学校、大樹中学校の大樹学や合唱の発表も大変すばらしい内容でした。「ねらい」にかなった時間となりました。大樹町の特色ある教育の一つです。



大樹町 ふるさと給食について

大樹町は、本校の希望する生徒に対して、給食を有償(一部、町が補助)で提供いただいています。その給食の献立で、「ふるさと給食」の日が年に何回かあります。

大樹町学校給食センターによると、いつもより多くの大樹町産食材を使っていて、給食を通じて、大樹町農畜水産物についてより知ってもらうための取り組みということです。

今回のメニューは、ごはん、ポトフ、鮭のパン粉焼き、さきさきチーズ、牛乳でした。食材のうち、大樹漁協さけ定置部会から鮭、キャベツ・大根・じゃがいもは町内の原農場様から無償提供いただき、チーズは雪印メグミルク大樹工場で作られたものです。

生徒はおいしくいただきました。大樹町は、給食でも、食育の観点からも、本校を支援してくれています。

